

# ANAホールディングス株式会社

## 2015年3月期 第2四半期 決算説明会

代表取締役社長  
伊東 信一郎

専務取締役 執行役員  
殿元 清司

2014年10月30日



## 目次

## 【第1部】

## I. 2015年3月期 第2四半期 決算(概要)

2015年3月期 第2四半期 決算概要	P. 4
航空事業の状況 ①国内線事業	P. 5
航空事業の状況 ②国際線事業	P. 6
当社グループにおける上期の主な取り組み	P. 7
「2014-16年度 中期経営戦略」の進捗状況	P. 8

## III. 補足資料

燃油・為替情報	P.32
国際旅客 方面別実績	P.33
国際貨物 方面別実績	P.34
運用航空機数	P.35

## 【第2部】

## II. 2015年3月期 第2四半期 決算(詳細)

業績ハイライト	P. 10
連結決算概要(経営成績)	P. 11
連結決算概要(財政状態)	P. 12
連結決算概要(キャッシュフロー)	P. 13
連結決算概要(セグメント別実績)	P. 14
航空事業(収入・費用)	P. 15
航空事業(営業利益増減要因)	P. 16
航空事業(国内旅客事業)	P. 17-18
航空事業(国際旅客事業)	P. 19-22
航空事業(国内貨物事業)	P. 23
航空事業(国際貨物事業)	P. 25-26
航空事業(LCC事業)	P. 27
航空事業以外のセグメント	P. 29

## 【第1部】

### I . 2015年3月期 第2四半期 決算(概要)



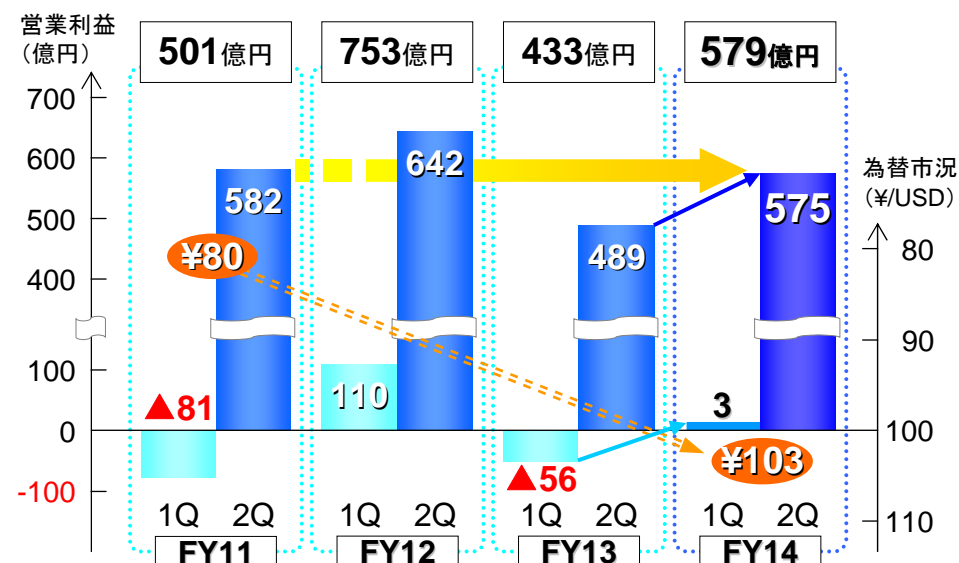
## 2015年3月期 第2四半期 決算概要

航空事業が牽引して大幅な増収増益を達成

### 《2015年3月期 第2四半期 決算(連結)》

(単位: 億円)	第2四半期	前年差	前年比
売上高	8,548	+ 716	+ 9.1%
航空事業	7,422	+ 601	+ 8.8%
営業利益	579	+ 146	+ 33.8%
航空事業	518	+ 126	+ 32.3%
営業利益率(%)	6.8	+ 1.2	-
経常利益	480	+ 161	+ 50.8%
当期純利益	357	+ 157	+ 78.2%
EBITDA	1,227	+ 118	+ 10.6%

### 《営業利益の推移(第2四半期 累計)》



### 【第2四半期決算のポイント】

- 第2四半期累計で過去最高の売上高に
  - 主力の航空事業が増収に大きく貢献
- 円安基調が続く中でも一定の利益を確保
  - 第2四半期単独の営業利益は2011年度実績と同水準に

# 航空事業の状況 ①国内線事業

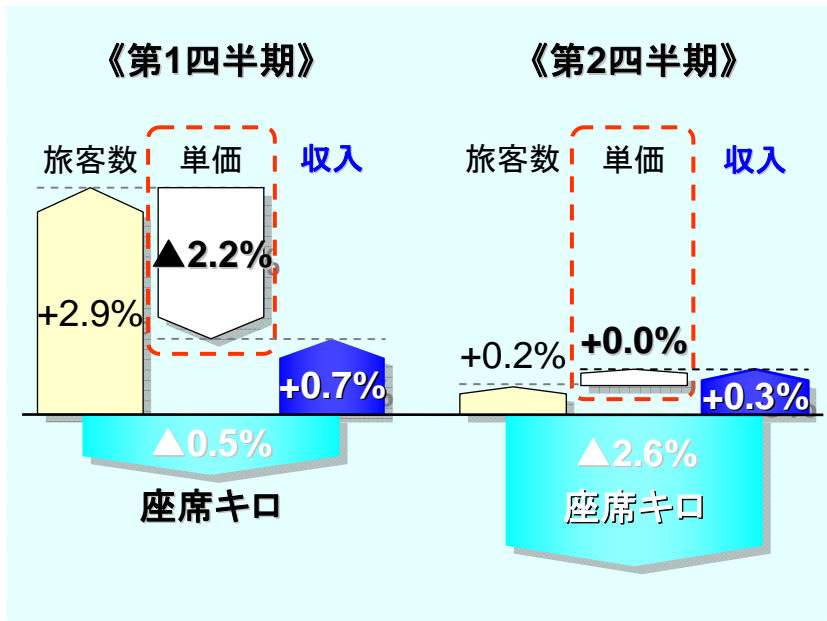
## 生産量を抑制しながらも需要を喚起して増収を実現

### 上期の実績

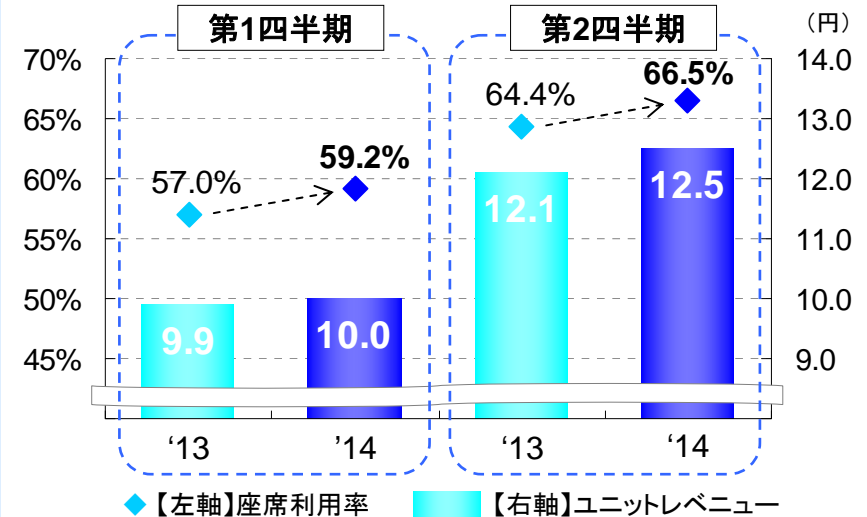
- ✓ 「需給適合」の推進
  - ・生産量の抑制(座席キロ:上期▲1.6%(前年比))
  - ・需要の喚起(プロモーション系運賃の投入)
- ✓ 運賃改定の実施(7月以降)
  - ・単価下落に歯止め

### 下期の取り組み

- ✓ 更なる生産量抑制による「需給適合」の推進
  - ・B787-9 国内線投入(2機)
  - ・小型機の活用
  - ・その他(羽田発着路線の見直し)



### 座席利用率とユニットレベニュー 前年同期比



上期を通じて前年比で上昇

## 航空事業の状況 ②国際線事業

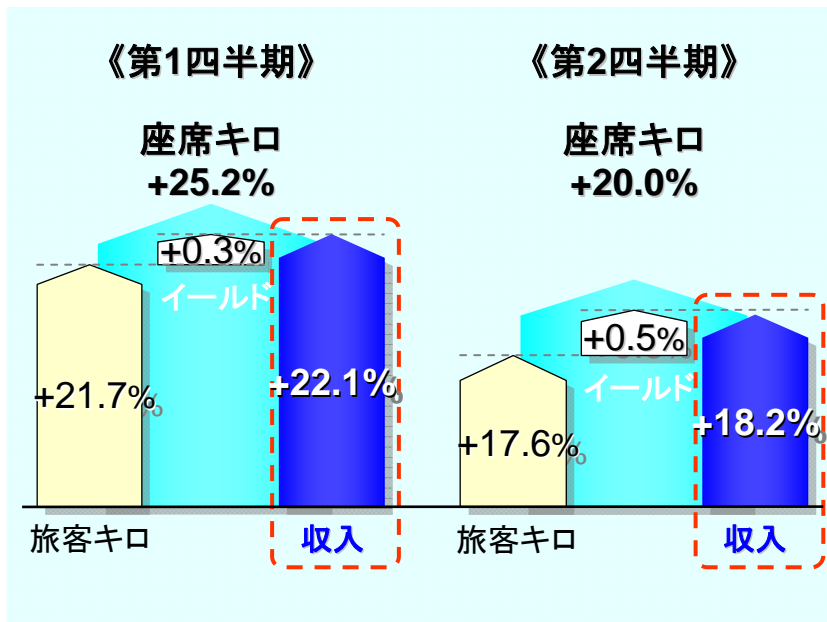
生産量の拡大局面においてもイールド水準を維持しながら堅調な需要を獲得

### 上期の実績

- ✓ 羽田増枠を活用して生産量を大幅に拡大
  - ・座席キロの増加に応じた増収を実現
- ✓ イールドマネジメントの継続
  - ・欧米線(ビジネスクラス)を中心に堅調

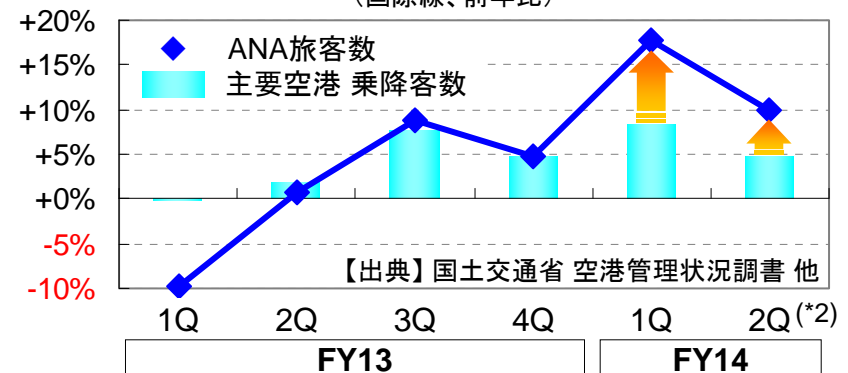
### 下期の取り組み

- ✓ 羽田発着路線の優位性を更に向上
  - ・羽田－中部線(国内線との乗継強化)
  - ・羽田－香港線(増便によるネットワーク充実)
- ✓ 需要動向に応じて事業計画を一部修正
  - ・中部－上海線(運航継続)
  - ・その他(一部路線の機種変更など)



### ANA旅客数と主要空港乗降客数<sup>(\*)</sup>の増加率

(国際線、前年比)



【出典】国土交通省 空港管理状況調査 他

\*1: 羽田・成田・関西・中部における国際線乗降客数の合計

\*2: FY14 2Qについては7-8月実績で算定

今年度から、**ANA旅客数**の増加率が  
**主要空港乗降客数**を大きく上回る

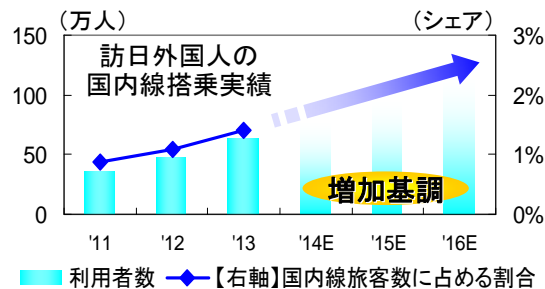
# 当社グループにおける上期の主な取り組み

「事業」と「財務」の両面から、持株会社としてのマネジメント機能を発揮

## 事業戦略

### ◆ 訪日旅行の新会社設立(11月)

- ✓ H.I.S.との提携で合併会社を設立  
(2015年春 営業開始予定)
- ✓ 旺盛な訪日需要の取り込みに向け、  
新しいビジネスモデルを構築



### ◆ 航空貨物の共同事業(下期中)

- ✓ 航空貨物で世界初のATI認可取得、  
ルフトハンザ・カーゴと提携

### ◆ コードシェアの拡大(10月末~)

- ✓ 提携拡大によるネットワーク拡充  
フィリピン航空、TAM航空(ブラジル)  
エチオピア航空

## 財務戦略

### ◆ 年金制度改革の実施(4月)

- ✓ 確定拠出型年金への移行
- ✓ 年金債務の将来リスクを抑制

### ◆ 超長期社債の発行(9月)

- ✓ 【発行額】150億円、【年限】12年
- ✓ 長期社債市場でのプレゼンスを確立、  
有利な調達を実現

### ◆ 機動的な為替ヘッジ対応

- ✓ 航空機向け  
費用とキャッシュフローの平準化
- ✓ 燃油向け  
次年度以降における利益目標の  
達成確度を向上

### ◆ 航空機調達の決定(3月末)

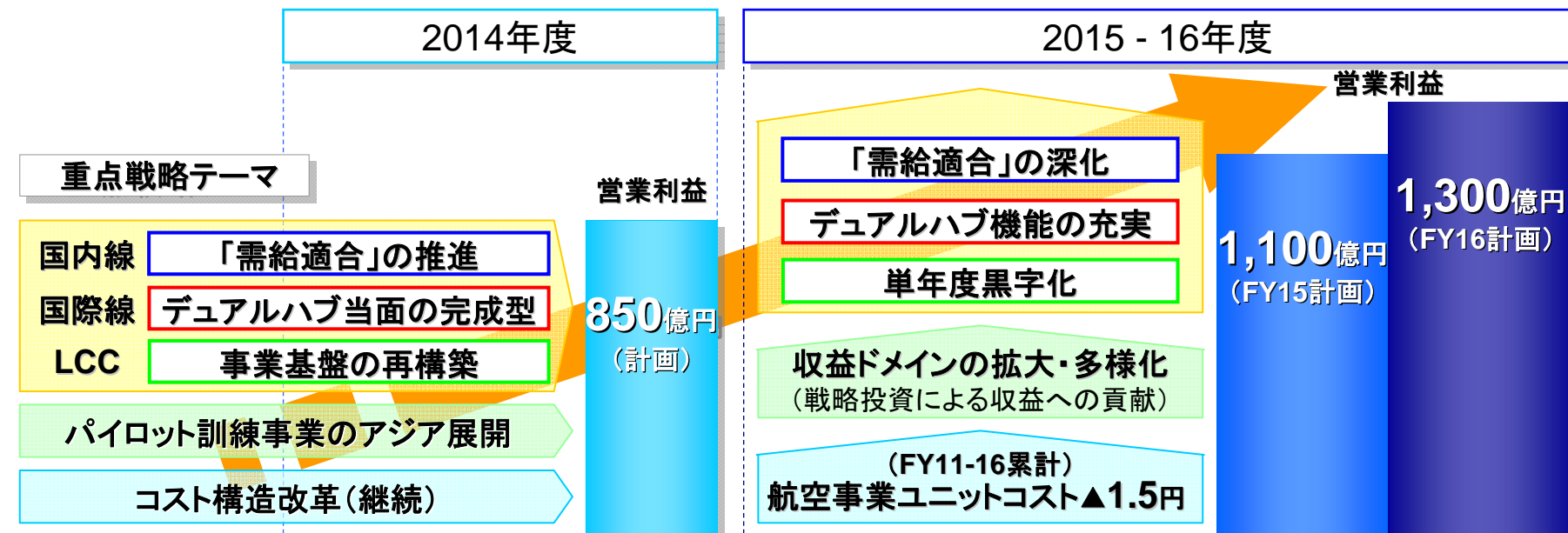
- ✓ 合計70機を受領予定  
(2017~2027年度)
- ✓ 今後の航空機投資の実施にあたり、  
安定したキャッシュフローを実現して  
財務の健全性を維持

### ◆ Pan Am Thailand 設立(8月)

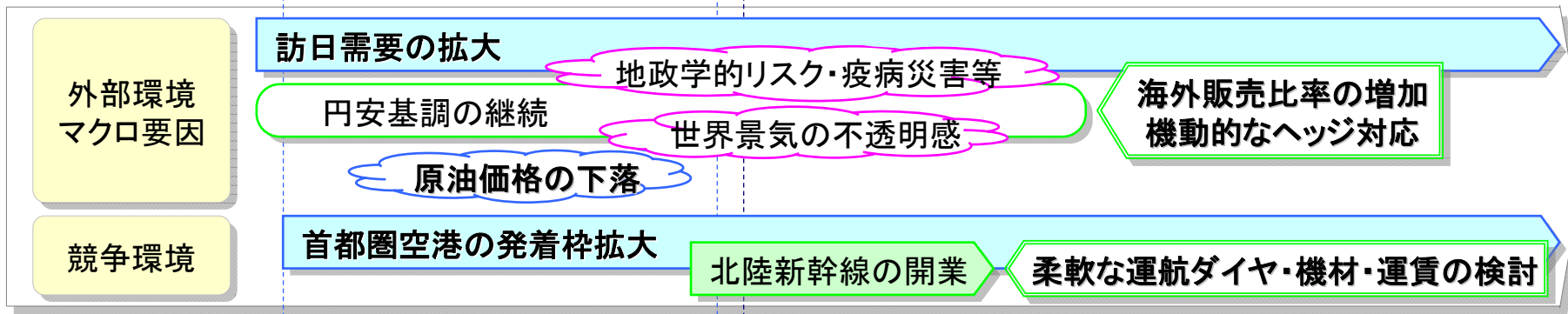
- ✓ パイロット訓練需要が旺盛なアジアに  
おけるビジネス展開のための布石
- ✓ 航空付帯ビジネスの拡大により、  
収益ドメインの拡大・多様化を追求

# 「2014-16年度 中期経営戦略」の進捗状況

持株会社制の下、事業ポートフォリオ戦略を着実に推進



環境変化にも柔軟に対応しながら、「中期経営戦略」で策定した利益目標を実現





## 【第2部】

### Ⅱ. 2015年3月期 第2四半期 決算(詳細)



## 業績ハイライト

### 当年度と前年度各四半期の業績比較

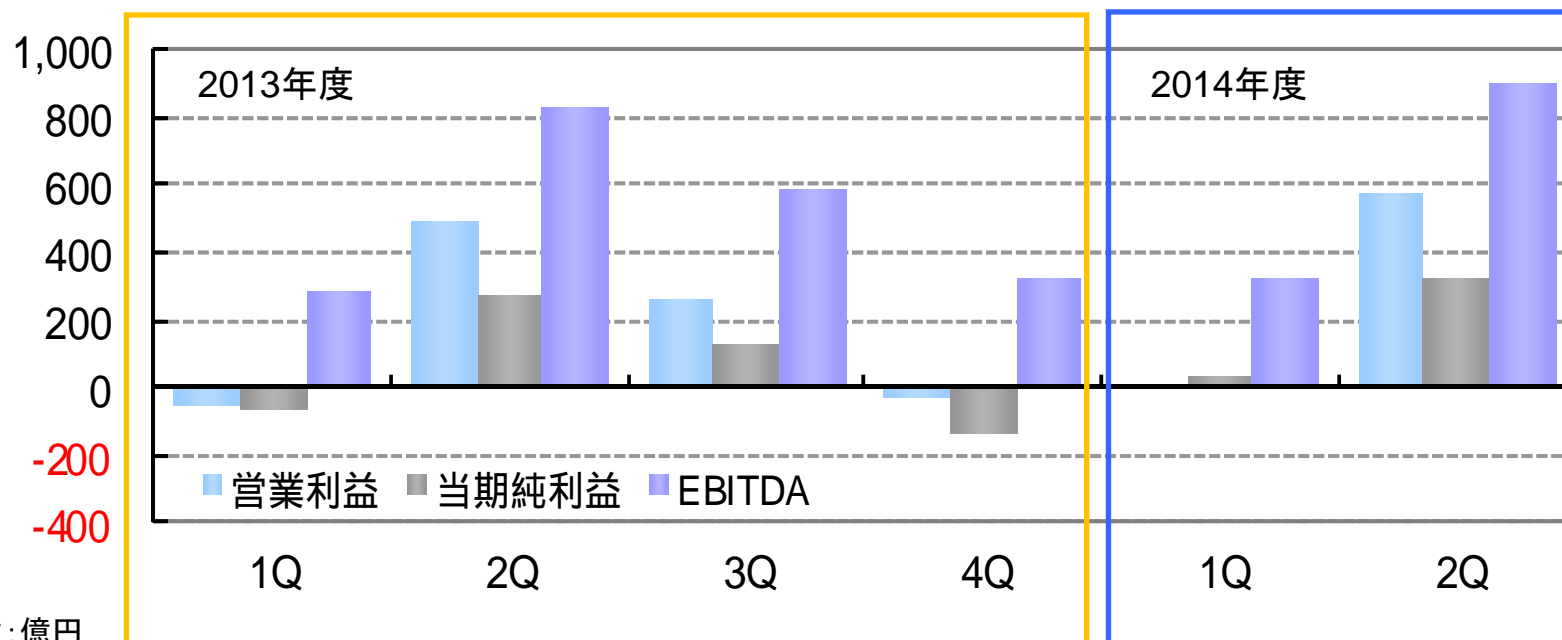
### 前年同期から大幅な増益を達成

#### 【第2四半期累計(連結)】

- 営業利益 : 579億円 (前年同期比 + 146億円)
- 当期純利益 : 357億円 ( 同 + 157億円)
- EBITDA : 1,227億円 ( 同 + 118億円)

#### 第2四半期のみ(7-9月期)

- 営業利益 575億円
- 当期純利益 322億円
- EBITDA 900億円



単位: 億円  
(¥100Million)

## 連結決算概要

## 経営成績

単位: 億円  
(¥100Million)

		前年同期 1H/FY13	第2四半期累計 1H/FY14	前年差 Difference	第2四半期 2Q/FY14	前年差 Difference
売上高	Operating Revenues	7,831	8,548	+ 716	4,679	+ 363
営業費用	Operating Expenses	7,398	7,968	+ 569	4,104	+ 276
営業利益	Operating Income	433	579	+ 146	575	+ 86
営業利益率	Op. Margin (%)	5.5	6.8	+ 1.2	12.3	+ 1.0
営業外損益	Non-Op. Gains/Losses	△ 114	△ 98	+ 15	△ 69	△ 12
経常利益	Recurring Income	318	480	+ 161	506	+ 74
特別損益	Extraordinary Gains/Losses	14	102	+ 88	2	+ 6
当期純利益	Net Income	200	357	+ 157	322	+ 55
少数株主損益調整前 当期純利益	Net Income Before Minority Interests	188	362	+ 173	324	+ 56
その他包括利益	Other Comprehensive Income	△ 0	215	+ 215	166	+ 159
包括利益	Comprehensive Income	188	577	+ 388	491	+ 215

事業上の関連性の高い航空会社に対する航空機燃料の売上取引については、  
当期より、売上高と売上原価を相殺して純額にて売上高を計上する方法に変更しています。  
なお、当該会計方針の変更は、前年同期の実績についても遡及適用されています。

## 連結決算概要

## 財政状態

単位: 億円  
(¥100Million)

		前年度期末 Mar 31, 2014	第2四半期末 Sep 30, 2014	前年度期末差 Difference
総資産	Assets	21,736	22,763	+ 1,027
自己資本	Shareholders' Equity	7,460	7,987	+ 526
自己資本比率(%)	Ratio of Shareholders' Equity (%)	34.3	35.1	+ 0.8
有利子負債残高	Interest Bearing Debts	8,347	8,693	+ 345
D/Eレシオ(倍)*	Debt/Equity Ratio (times)	1.1	1.1	△ 0.0
純有利子負債残高**	Net Interest Bearing Debts	4,616	4,733	+ 117

\* オフバランスリース債務額1,053億円(前年度期末1,210億円)を含むD/Eレシオは1.2倍(前年度期末1.3倍)

\*\* 純有利子負債残高 = 有利子負債残高 - (流動資産(現金及び預金 + 有価証券))

## 連結決算概要

## キャッシュフロー

単位: 億円  
(¥100Million)

		前年同期 1H/FY13	第2四半期累計 1H/FY14	前年差 Difference
営業キャッシュフロー	Cash Flow from Operating Activities	1,337	1,222	△ 115
投資キャッシュフロー	Cash Flow from Investing Activities	△ 453	△ 1,562	△ 1,108
財務キャッシュフロー	Cash Flow from Financing Activities	△ 627	221	+ 848
現金及び現金同等物の増減額	Net Increase or Decrease	258	△ 117	△ 375
現金及び現金同等物の期首残高	Cash and Cash Equivalent at the beginning	1,912	2,409	} △ 101 **
現金及び現金同等物の期末残高	Cash and Cash Equivalent at the end	2,171	2,307	
減価償却費	Depreciation and Amortization	676	648	△ 28
設備投資額(固定資産のみ)	Capital Expenditures	1,052	1,490	+438
実質フリーキャッシュフロー (3ヶ月超の定期・譲渡性預金を除く)	Substantial Free Cash Flow (excluding periodic/negotiable deposits of more than 3 months)	294	△ 7	△ 302
EBITDA *	EBITDA	1,109	1,227	+ 118
EBITDAマージン(%)	EBITDA Margin (%)	14.2	14.4	+ 0.2

\* EBITDA: 営業利益+減価償却費

\*\* 連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物への影響額含む

## 連結決算概要

### セグメント別実績

単位: 億円  
(¥100Million)

		前年同期 1H/FY13	第2四半期累計 1H/FY14	前年差 Difference	第2四半期 2Q/FY14	前年差 Difference	
売上高 Revenues	航空事業	Air Transportation	6,820	7,422	+ 601	4,070	+ 305
	航空関連事業	Airline Related	930	1,089	+ 158	553	+ 79
	旅行事業	Travel Services	907	890	△ 17	523	△ 20
	商社事業	Trade and Retail	538	613	+ 75	313	+ 39
	報告セグメント計	Total for Reporting Segments	9,196	10,015	+ 818	5,460	+ 404
	その他	Others	142	155	+ 12	80	+ 7
	調整額	Adjustment	△ 1,507	△ 1,622	△ 114	△ 860	△ 48
	合計(連結)	Total	7,831	8,548	+ 716	4,679	+ 363
営業利益 Operating Income	航空事業	Air Transportation	392	518	+ 126	530	+ 72
	航空関連事業	Airline Related	37	52	+ 15	24	△ 0
	旅行事業	Travel Services	27	27	△ 0	20	△ 1
	商社事業	Trade and Retail	18	18	△ 0	12	+ 1
	報告セグメント計	Total for Reporting Segments	476	617	+ 141	588	+ 72
	その他	Others	4	7	+ 3	5	+ 2
	調整額	Adjustment	△ 47	△ 45	+ 2	△ 18	+ 11
	合計(連結)	Total	433	579	+ 146	575	+ 86

事業上の関連性の高い航空会社に対する航空機燃料の売上取引については、P11脚注の通り、会計方針の変更が適用されています。

## 航空事業

収入・費用		単位: 億円 (¥100Million)	前年同期 1H/FY13	第2四半期累計 1H/FY14	前年差 Difference	第2四半期 2Q/FY14	前年差 Difference
売上高 Operating Revenues	国内線旅客	Domestic Passengers	3,443	3,458	+ 15	1,974	+ 5
	国際線旅客	International Passengers	1,965	2,357	+ 392	1,265	+ 194
	貨物郵便	Cargo and Mail	685	803	+ 117	411	+ 63
	その他	Others	725	801	+ 76	419	+ 42
	合計	Total	6,820	7,422	+ 601	4,070	+ 305
営業費用 Operating Expenses	燃油費・燃料税	Fuel and Fuel Tax	1,659	1,872	+ 212	973	+ 114
	空港使用料	Landing and Navigation Fees	546	573	+ 26	294	+ 10
	航空機材賃借費	Aircraft Leasing Fees	388	446	+ 57	226	+ 23
	減価償却費	Depreciation and Amortization	636	620	△ 15	310	△ 16
	整備部品・外注費	Aircraft Maintenance	415	418	+ 3	219	+ 3
	人件費	Personnel	833	824	△ 9	409	△ 0
	販売費	Sales Commission and Promotion	376	491	+ 115	255	+ 53
	外部委託費	Contracts	780	846	+ 65	435	+ 40
	その他	Others	790	809	+ 18	414	+ 5
	合計	Total	6,428	6,903	+ 475	3,539	+ 232
営業利益	営業利益	Operating Income	392	518	+ 126	530	+ 72
	EBITDA*	EBITDA	1,048	1,139	+ 90	840	+ 55
	EBITDAマージン	EBITDA Margin (%)	15.4	15.4	△ 0.0	20.7	△ 0.2

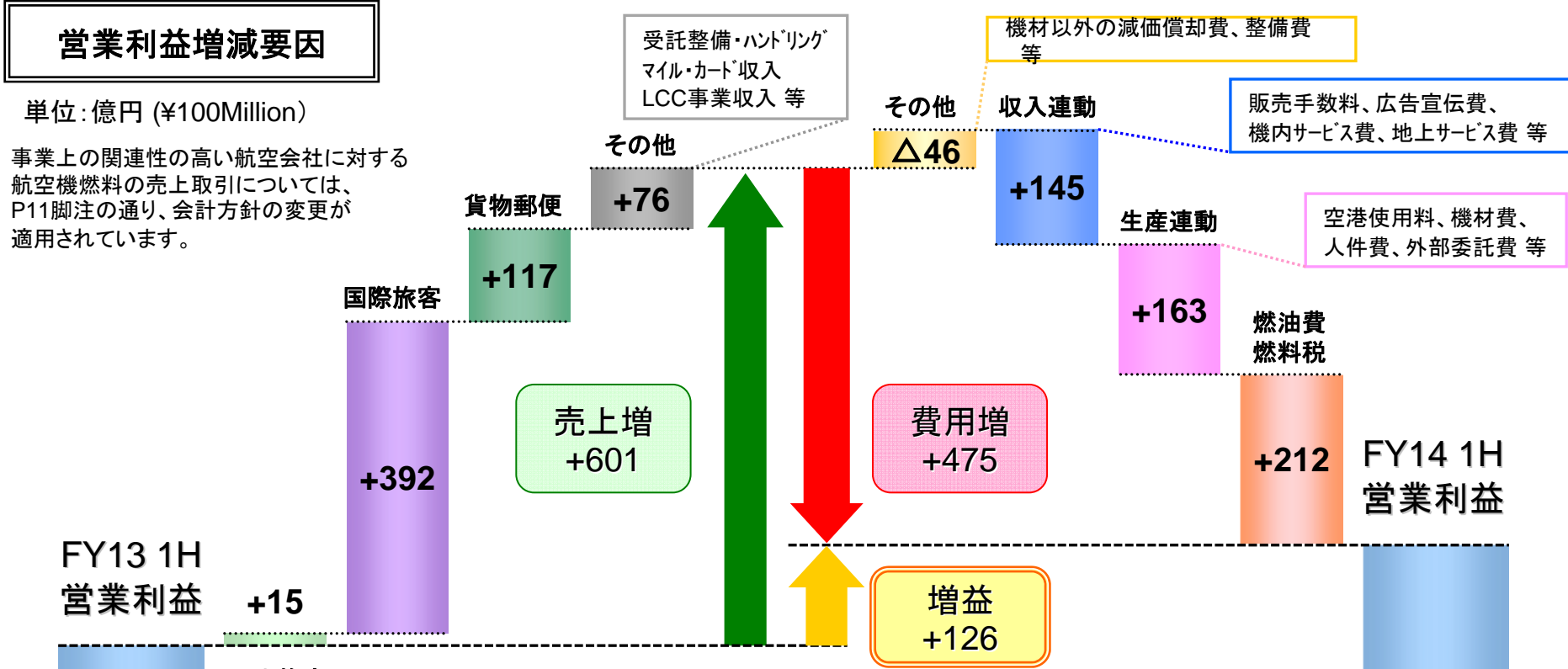
\* EBITDA: 営業利益 + 減価償却費、休止固定資産減価償却費等を含む

# 航空事業

## 営業利益増減要因

単位：億円 (¥100Million)

事業上の関連性の高い航空会社に対する航空機燃料の売上取引については、P11脚注の通り、会計方針の変更が適用されています。



FY13 1H  
営業利益

国内旅客

コスト構造改革	年度計画	2Q累計実績	進捗率
生産性向上	110	50	45%
投資適正化	50	25	50%
営業改革	35	15	43%
業務改革等	145	55	38%
計	340	145	43%

FY14 1H  
営業利益

518



## 航空事業

### 国内旅客事業(実績)

		前年同期 1H/FY13	第2四半期累計 1H/FY14	前年比 % Y/Y	第2四半期 2Q/FY14	前年比 % Y/Y
座席キロ(百万)	Available Seat Km (million)	31,141	30,647	△ 1.6	15,808	△ 2.6
旅客キロ(百万)	Revenue Passenger Km (million)	18,950	19,293	+ 1.8	10,504	+ 0.5
旅客数(千人)	Passengers (thousands)	21,370	21,675	+ 1.4	11,704	+ 0.2
座席利用率(%)	Load Factor (%)	60.9	63.0	+ 2.1*	66.5	+ 2.0*
旅客収入(億円)	Passenger Revenues (¥100million)	3,443	3,458	+ 0.4	1,974	+ 0.3
ユニットレヴェニュー(円)	Unit Revenue (¥/ASK)	11.1	11.3	+ 2.1	12.5	+ 2.9
イールド(円)	Yield (¥/RPK)	18.2	17.9	△ 1.3	18.8	△ 0.2
単価(円)	Unit Price (¥/Passenger)	16,115	15,957	△ 1.0	16,873	+ 0.0

\* 座席利用率のみ前年差

(旧エアアジア・ジャパン、バニラエア含まず)

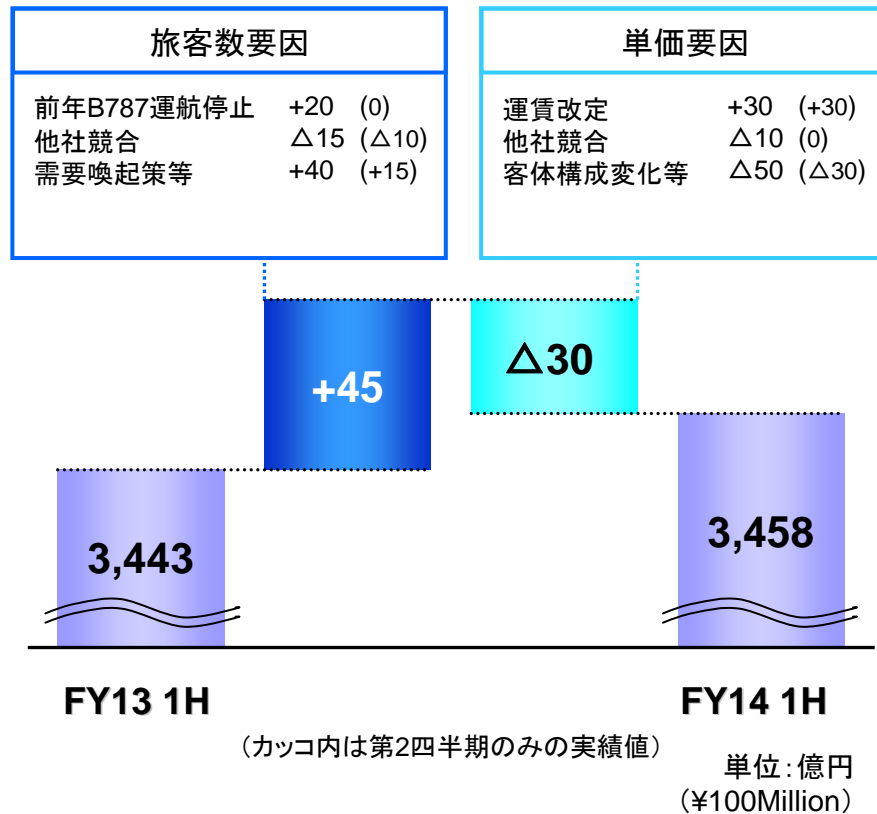
# 航空事業

## 国内旅客事業(事業動向)

(旧エアアジア・ジャパン、バニラエアを含まず)

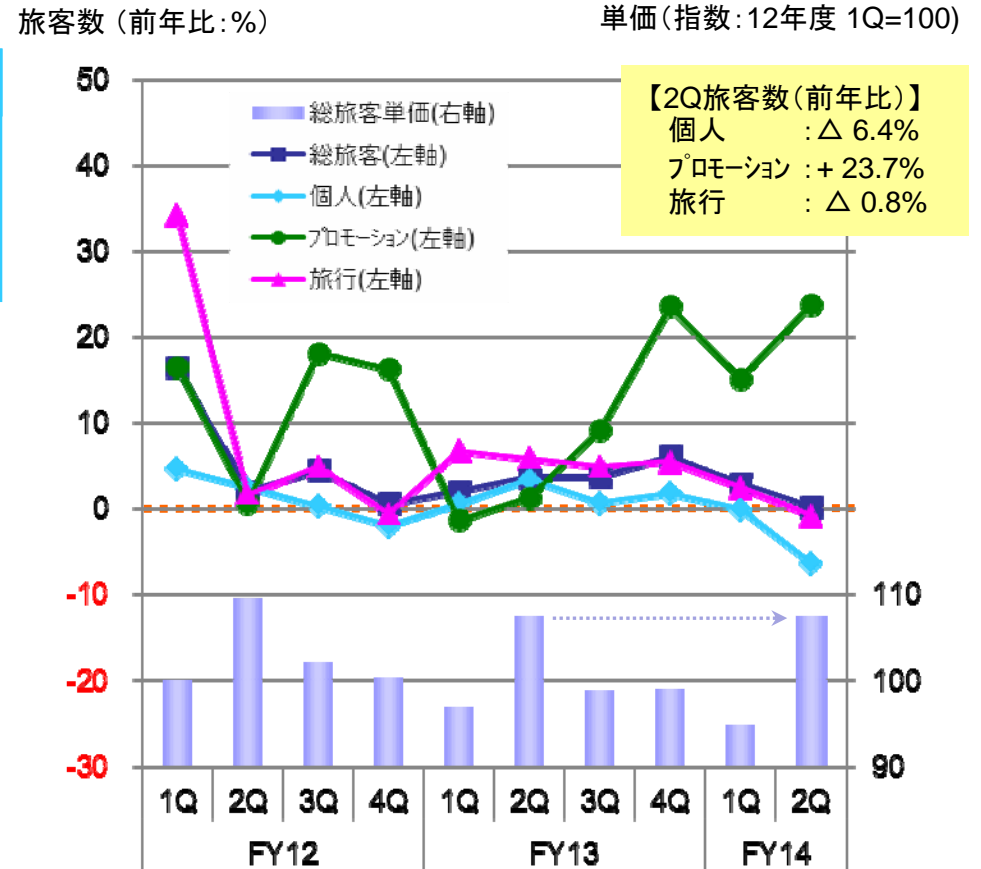
### 第2四半期累計 収入増減要因

✓ 生産量を抑制するなかでも増収を実現



### 四半期別 客体別 旅客数・単価推移

✓ 運賃値上げと需要喚起型運賃の双方が奏功



## 航空事業

### 国際旅客事業(実績)

		前年同期 1H/FY13	第2四半期累計 1H/FY14	前年比 % Y/Y	第2四半期 2Q/FY14	前年比 % Y/Y
座席キロ(百万)	Available Seat Km (million)	20,178	24,718	+ 22.5	12,444	+ 20.0
旅客キロ(百万)	Revenue Passenger Km (million)	15,089	18,025	+ 19.5	9,553	+ 17.6
旅客数(千人)	Passengers (thousands)	3,170	3,591	+ 13.3	1,901	+ 9.6
座席利用率(%)	Load Factor (%)	74.8	72.9	△ 1.9*	76.8	△ 1.6*
旅客収入(億円)	Passenger Revenues (¥100million)	1,965	2,357	+ 20.0	1,265	+ 18.2
ユニットレベニュー(円)	Unit Revenue (¥/ASK)	9.7	9.5	△ 2.1	10.2	△ 1.5
イールド(円)	Yield (¥/RPK)	13.0	13.1	+ 0.4	13.2	+ 0.5
単価(円)	Unit Price (¥/Passenger)	61,998	65,656	+ 5.9	66,539	+ 7.8

\* 座席利用率のみ前年差

(旧エアアジア・ジャパン、バニラエア含まず)

# 航空事業

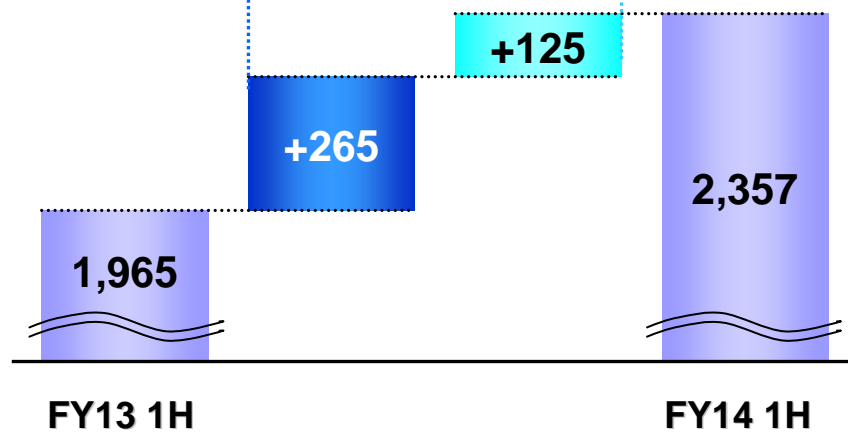
## 国際旅客事業(事業動向)

(旧エアアジア・ジャパン、バニラエアを含まず)

## 第2四半期累計 収入増減要因

✓大幅な生産量拡大を着実な需要獲得に結実

旅客数要因		単価要因	
生産量	+165 (+70)	イールドマネジメント	+75 (+45)
需要動向	+20 (△10)	客体・路線構成変化	△5 (+5)
FSC	+60 (+30)	為替	+30 (+20)
営業施策等	+20 (+15)	FSC	+25 (+15)



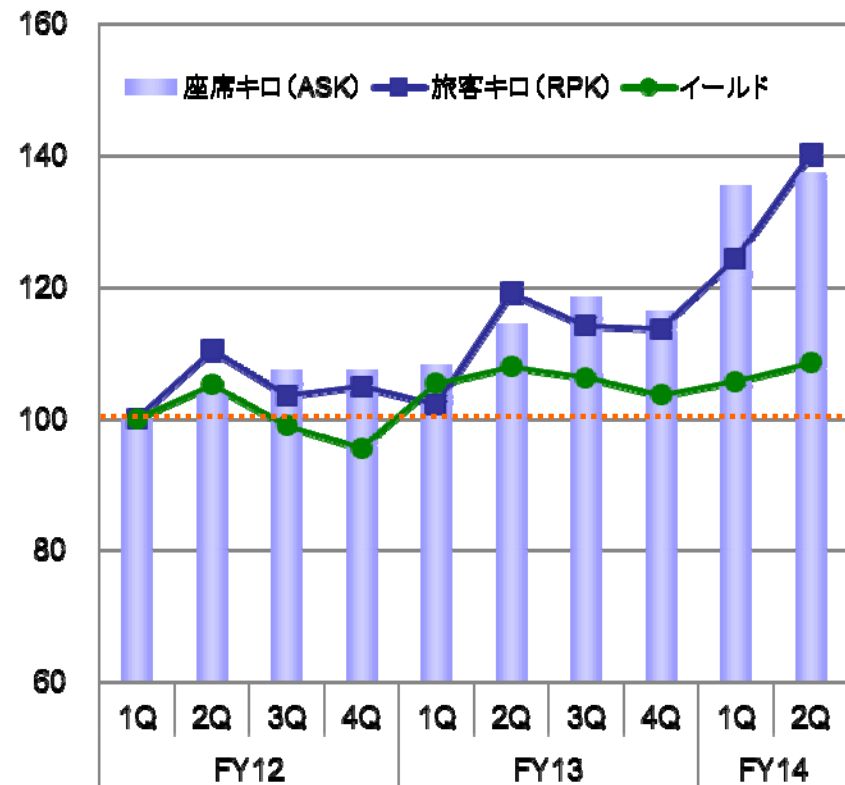
(カッコ内は第2四半期のみの実績値)

単位: 億円  
(¥100Million)

## 四半期別 座席キロ・旅客キロ・イールド推移

✓イールド水準を維持しながら需要を取り込む

指数: 12年度 1Q=100



# 航空事業

## 国際旅客事業(事業動向)

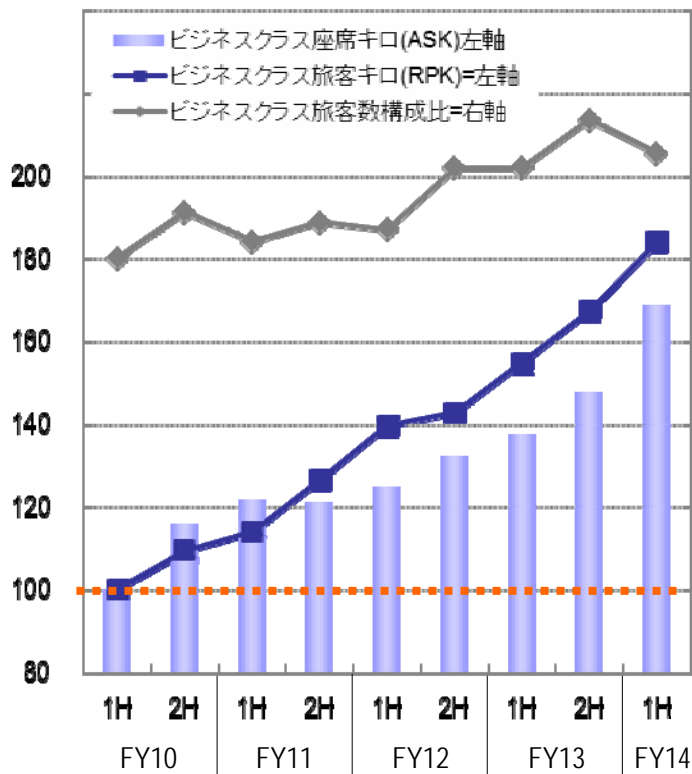
(旧エアアジア・ジャパン、パニラエアを含まず)

### ビジネスクラス座席キロ・旅客キロ・構成比推移

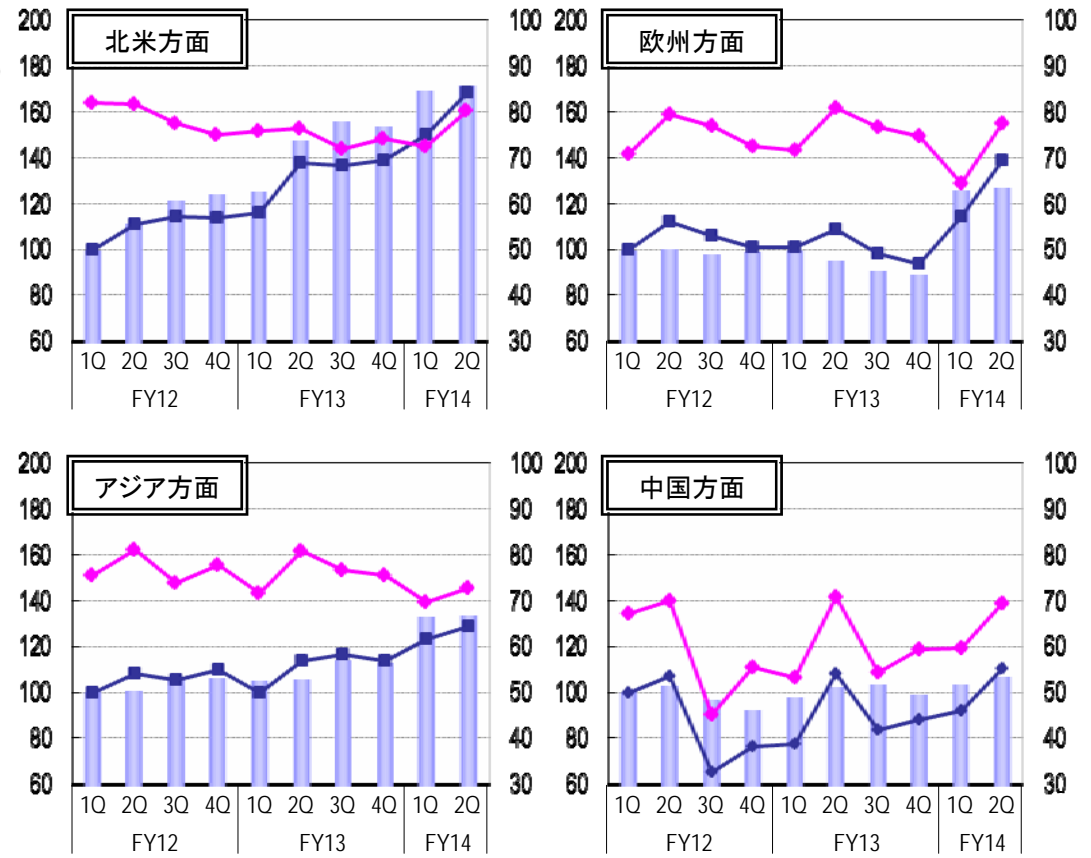
✓依然として高水準なビジネスクラス旅客数構成比

指数: FY10 1H=100

構成比(%)



### 四半期別 方面別 輸送実績推移



# 航空事業

## 国際旅客事業(事業動向)

(旧エアアジア・ジャパン、バニラエアを含まず)

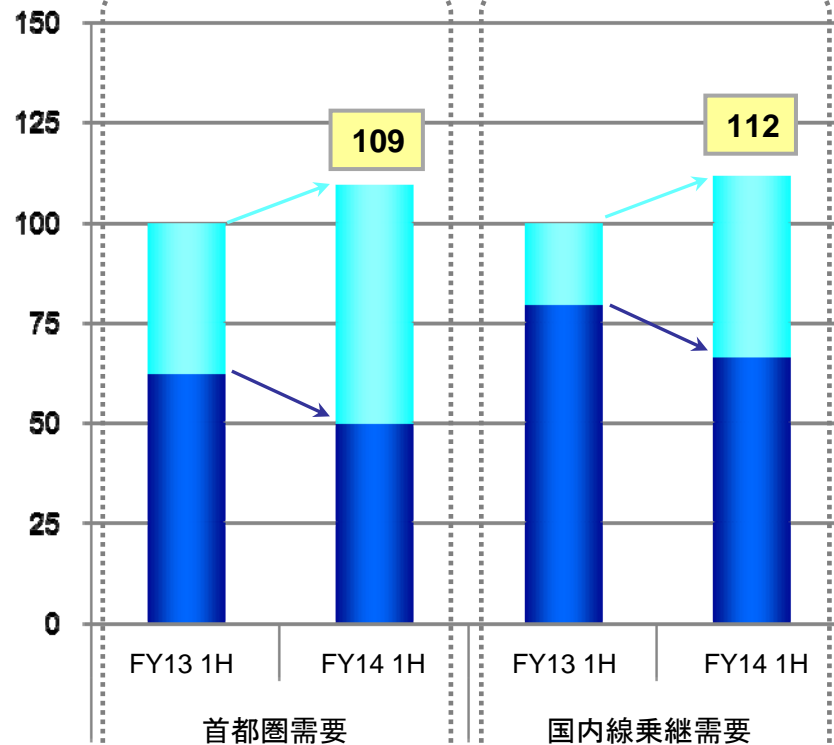
### デュアルハブネットワーク戦略の進捗(流動別旅客数の前年同期比較)

#### 国内販売

✓ 羽田の利便性を最大限に活かし、

国内需要を広く獲得

旅客数 指数  
(FY13 1H=100)

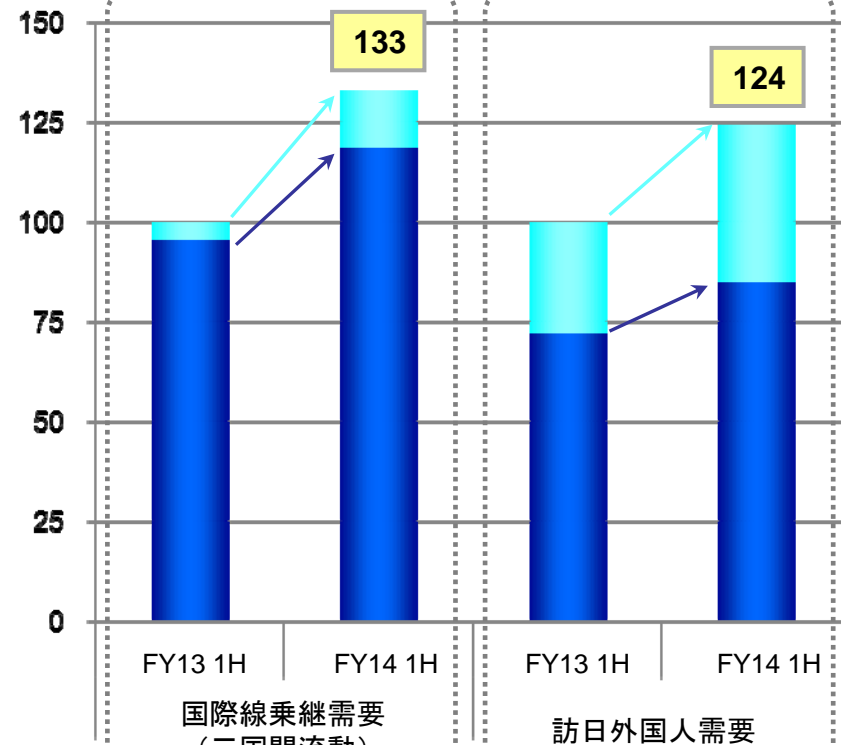


#### 海外販売

✓ グローバル流動は、

成田と羽田の両空港がカバー

旅客数 指数  
(FY13 1H=100)



## 航空事業

国内貨物事業(実績)		前年同期 1H/FY13	第2四半期累計 1H/FY14	前年比 % Y/Y	第2四半期 2Q/FY14	前年比 % Y/Y	
国内貨物 Domestic Cargo	有効貨物トンキロ(百万)	Available Ton Km (million)	1,006	963	△ 4.2	501	△ 6.1
	有償貨物トンキロ(百万)	Revenue Ton Km (million)	220	236	+ 7.2	125	+ 4.7
	貨物輸送重量(千トン)	Revenue Ton (thousand tons)	223	236	+ 5.8	125	+ 3.5
	貨物重量利用率(%)	Load Factor (%)	22.0	24.6	+ 2.6*	24.9	+ 2.6*
	貨物収入(億円)	Cargo Revenues (¥100million)	152	161	+ 5.7	84	+ 4.2
	ユニットレベニュー(円)	Unit Revenue (¥/ATK)	15.2	16.8	+ 10.3	16.9	+ 10.9
	重量単価(円/kg)	Unit Price (¥/kg)	68	68	△ 0.2	67	+ 0.6
【参考】 上記内数  国内 フレighter Domestic Freighter	有効貨物トンキロ(百万)	Available Ton Km (million)	14	—	—	—	—
	有償貨物トンキロ(百万)	Revenue Ton Km (million)	4	—	—	—	—
	貨物輸送重量(千トン)	Revenue Ton (thousand tons)	4	—	—	—	—
	貨物重量利用率(%)	Load Factor (%)	32.1	—	—	—	—
	貨物収入(億円)	Cargo Revenues (¥100million)	6	—	—	—	—
	ユニットレベニュー(円)	Unit Revenue (¥/ATK)	43.2	—	—	—	—
	重量単価(円/kg)	Unit Price (¥/kg)	129	—	—	—	—

\* 貨物重量利用率のみ前年差

Intentionally Blank



## 航空事業

国際貨物事業(実績)		前年同期 1H/FY13	第2四半期累計 1H/FY14	前年比 % Y/Y	第2四半期 2Q/FY14	前年比 % Y/Y	
国際貨物 International Cargo	有効貨物トンキロ(百万)	Available Ton Km (million)	2,169	2,742	+ 26.4	1,398	+ 22.2
	有償貨物トンキロ(百万)	Revenue Ton Km (million)	1,366	1,801	+ 31.8	909	+ 30.0
	貨物輸送重量(千トン)	Revenue Ton (thousand tons)	334	428	+ 28.2	216	+ 26.0
	貨物重量利用率(%)	Load Factor (%)	63.0	65.7	+ 2.7*	65.1	+ 3.9*
	貨物収入(億円)	Cargo Revenues (¥100million)	491	597	+ 21.7	304	+ 23.9
	ユニットレベニュー(円)	Unit Revenue (¥/ATK)	22.6	21.8	△ 3.7	21.8	+ 1.3
	重量単価(円/kg)	Unit Price (¥/kg)	147	140	△ 5.0	141	△ 1.7
【参考】 上記内数  国際 フレイター International Freighter	有効貨物トンキロ(百万)	Available Ton Km (million)	462	618	+ 33.9	322	+ 30.6
	有償貨物トンキロ(百万)	Revenue Ton Km (million)	281	386	+ 37.7	200	+ 34.4
	貨物輸送重量(千トン)	Revenue Ton (thousand tons)	153	194	+ 26.3	98	+ 23.4
	貨物重量利用率(%)	Load Factor (%)	60.8	62.5	+ 1.7*	62.2	+ 1.7*
	貨物収入(億円)	Cargo Revenues (¥100million)	185	228	+ 23.5	117	+ 24.1
	ユニットレベニュー(円)	Unit Revenue (¥/ATK)	40.0	36.9	△ 7.8	36.3	△ 5.0
	重量単価(円/kg)	Unit Price (¥/kg)	120	117	△ 2.3	119	+ 0.6

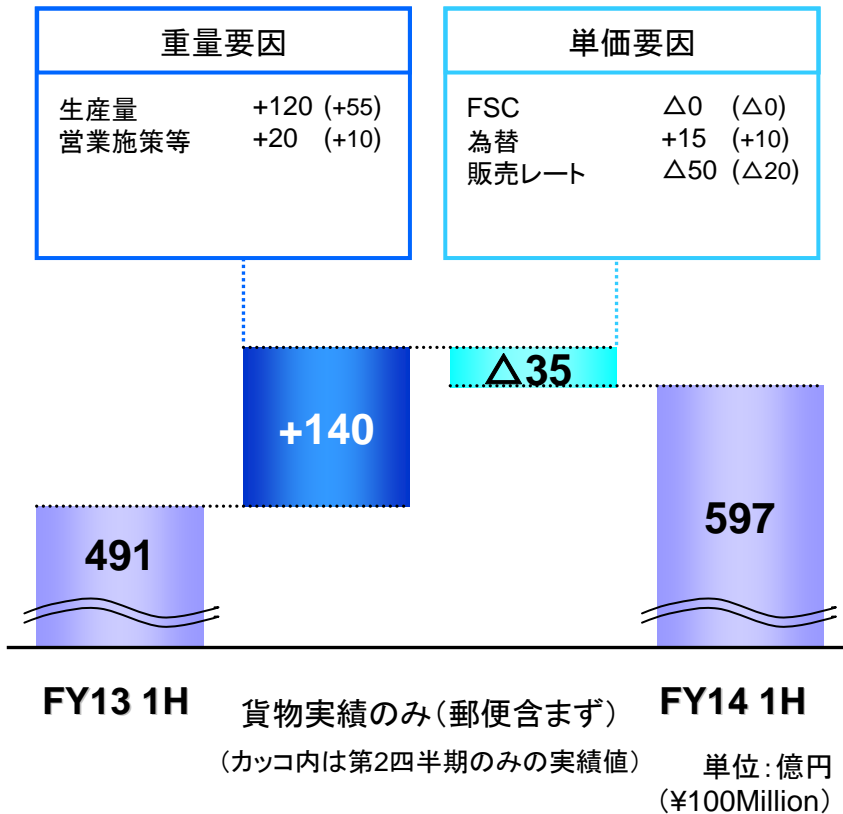
\* 貨物重量利用率のみ前年差

# 航空事業

## 国際貨物事業(事業動向)

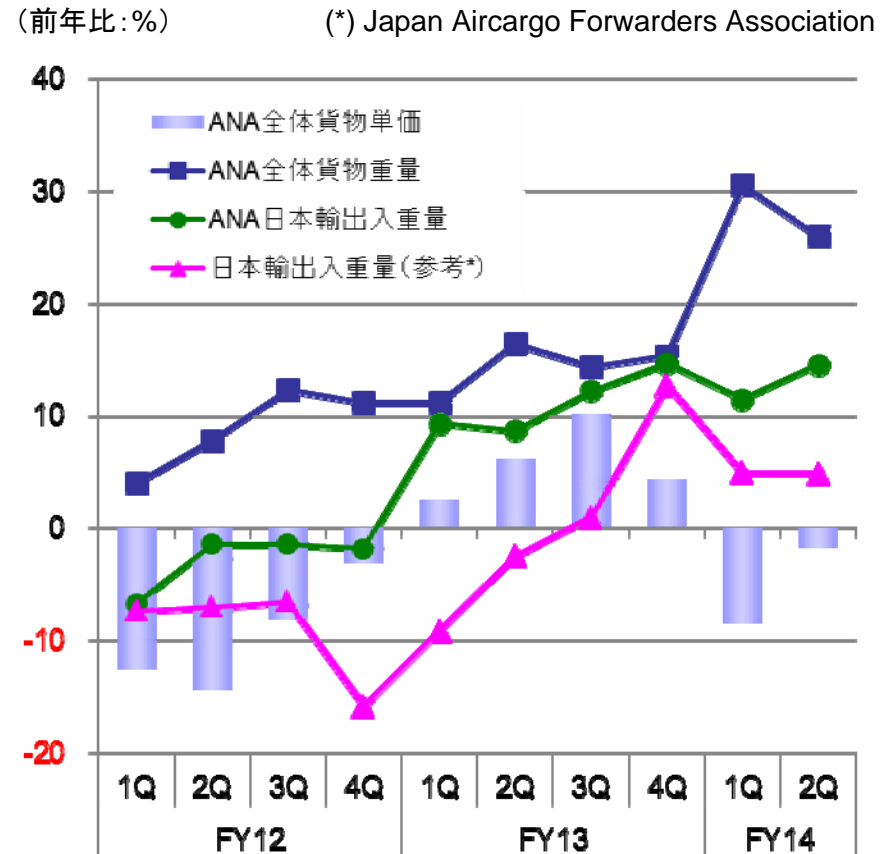
### 第2四半期累計 収入増減要因

✓ 需要の取り込み強化を図り大幅増収



### 四半期別 輸送実績・単価推移

✓ 三国間流動貨物を中心に取扱重量を拡大



## 航空事業

### LCC事業(実績)

		国内線・国際線合計	前年同期* 1H/FY13	第2四半期累計 1H/FY14	前年比 % Y/Y	第2四半期 2Q/FY14	前年比 % Y/Y
座席キロ(百万)	Available Seat Km (million)		837	1,098	+ 31.1	602	+ 26.2
旅客キロ(百万)	Revenue Passenger Km (million)		554	820	+ 47.8	524	+ 46.5
旅客数(千人)	Passengers (thousands)		484	570	+ 17.6	371	+ 24.0
座席利用率(%)	Load Factor (%)		66.2	74.7	+ 8.5* *	87.0	+ 12.0* *

\*旧エアアジア・ジャパンとしての実績

\*\*座席利用率のみ前年差

#### 機材計画

運用航空機数:7機  
(2014年9月末時点)  
14年度末:8機  
15年度中に10機程度

→ 成田=香港線 新規就航予定(2014/11/2~)

→ 成田=高雄線 新規就航予定(2015/2/1~)



Intentionally Blank

## 航空事業以外のセグメント

### セグメント別実績

単位:億円 (¥100Million)

		航空関連事業			旅行事業		
		前年同期 1H/FY13	第2四半期累計 1H/FY14	前年差 Difference	前年同期 1H/FY13	第2四半期累計 1H/FY14	前年差 Difference
売上高	Revenues	930	1,089	+ 158	907	890	△ 17
営業利益	Op. Income	37	52	+ 15	27	27	△ 0
減価償却費	Depreciation and Amortization	15	22	+ 7	0	0	△ 0
EBITDA*	EBITDA	52	74	+22	28	28	△ 0
EBITDAマージン	EBITDA Margin (%)	5.6	6.9	+ 1.2	3.1	3.2	+ 0.0

		商社事業			その他		
		前年同期 1H/FY13	第2四半期累計 1H/FY14	前年差 Difference	前年同期 1H/FY13	第2四半期累計 1H/FY14	前年差 Difference
売上高	Revenues	538	613	+ 75	142	155	+ 12
営業利益	Op. Income	18	18	△ 0	4	7	+ 3
減価償却費	Depreciation and Amortization	3	4	+ 0	1	0	△ 0
EBITDA*	EBITDA	22	22	+ 0	5	8	+ 2
EBITDAマージン	EBITDA Margin (%)	4.1	3.7	△ 0.4	3.8	5.3	+ 1.5

\* EBITDA : 営業利益 + 減価償却費

Intentionally Blank

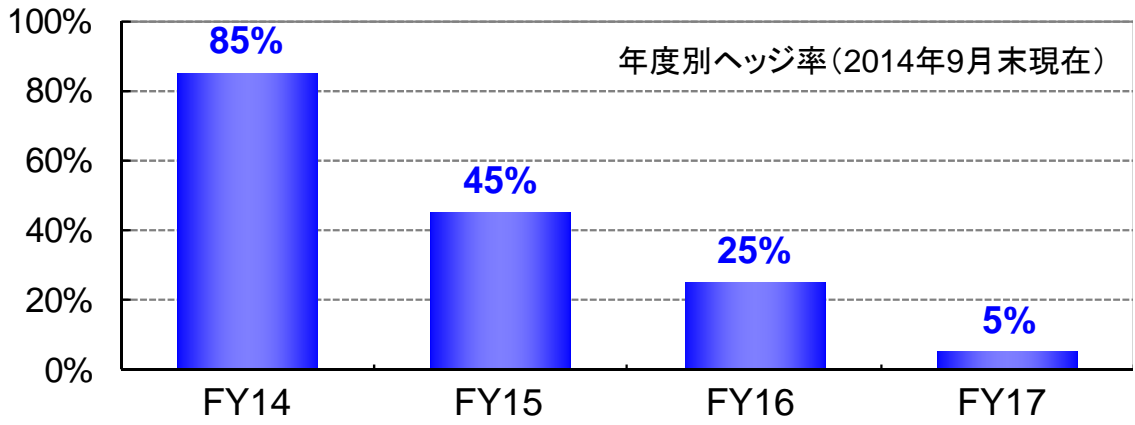
### Ⅲ. 補足資料



# 補足資料

## 燃油

2014年度	ドバイ原油	シンガポールケロシン
通期業績予想前提値	US\$107/bbl	US\$125/bbl
上期実績	US\$103.8/bbl	US\$118.2/bbl

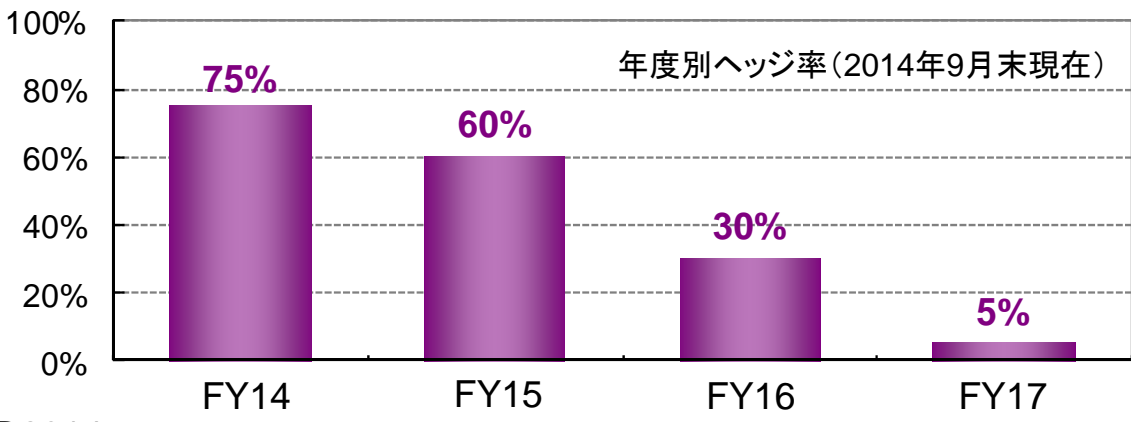


(下記感応度はヘッジ効果を含まず)



## 為替

2014年度	円/US\$
通期業績予想前提値	105円/US\$
上期実績	103.0円/US\$





## 補足資料

国際旅客 方面別実績(構成比)		第2四半期 累計構成比 1H/FY14 Composition	前年差 Difference	第2四半期構成比 2Q/FY14 Composition	前年差 Difference
旅客収入 Revenue	北米 North America	33.2	+ 2.1	33.1	+ 1.8
	欧州 Europe	21.5	+ 0.6	22.2	+ 1.6
	中国 China	14.8	△ 1.6	14.8	△ 2.2
	アジア Asia	26.6	△ 0.6	25.6	△ 0.9
	リゾート Resort	3.9	△ 0.5	4.3	△ 0.3
座席キロ ASK	北米 North America	35.0	+ 0.7	35.0	△ 1.1
	欧州 Europe	20.4	+ 1.1	20.4	+ 2.1
	中国 China	11.3	△ 1.9	11.4	△ 1.7
	アジア Asia	29.3	+ 0.9	29.1	+ 1.4
	リゾート Resort	4.0	△ 0.9	4.1	△ 0.7
旅客キロ RPK	北米 North America	36.7	+ 1.8	36.6	+ 1.5
	欧州 Europe	19.9	+ 0.2	20.6	+ 1.6
	中国 China	10.0	△ 1.0	10.3	△ 1.6
	アジア Asia	28.6	△ 0.2	27.6	△ 0.9
	リゾート Resort	4.8	△ 0.8	4.9	△ 0.6

(パニラエア/旧エアアジア・ジャパンを含まず)

## 補足資料

国際貨物 方面別実績(構成比)			第2四半期 累計構成比 1H/FY14 Composition	前年差 Difference	第2四半期構成比 2Q/FY14 Composition	前年差 Difference
貨物収入 Revenue	北米	North America	21.8	+ 0.7	22.1	+ 1.0
	欧州	Europe	14.6	+ 0.1	14.2	△ 0.1
	中国	China	34.4	△ 2.8	34.4	△ 3.1
	アジア	Asia	22.3	+ 2.4	22.7	+ 2.7
	その他	Others	6.9	△ 0.3	6.6	△ 0.4
有効貨物 トンキロ ATK	北米	North America	35.0	△ 2.4	34.9	△ 4.1
	欧州	Europe	20.8	△ 0.6	20.6	+ 0.7
	中国	China	16.3	△ 1.1	16.2	△ 0.8
	アジア	Asia	24.1	+ 4.3	24.7	+ 4.5
	その他	Others	3.8	△ 0.2	3.6	△ 0.3
有償貨物 トンキロ RTK	北米	North America	38.5	+ 0.1	38.2	△ 0.9
	欧州	Europe	23.2	△ 0.5	22.7	△ 0.1
	中国	China	13.7	△ 2.2	13.8	△ 2.1
	アジア	Asia	20.6	+ 2.8	21.6	+ 3.7
	その他	Others	4.0	△ 0.2	3.8	△ 0.6

## 補足資料

運用航空機数		前年度期末 Mar 31, 2014	第2四半期末 Sep 30, 2014	増減 Change	保有機数 Owned	リース機数 Leased
大型機 Wide-Body	Boeing 747-400 (Domestic)	1	0	△ 1	0	0
	Boeing 777-300ER	19	19	—	16	3
	Boeing 777-300	7	7	—	7	0
	Boeing 777-200ER	12	12	—	6	6
	Boeing 777-200	16	16	—	14	2
	Boeing 787-9	0	2	+ 2	2	0
中型機 Mid-Body	Boeing 787-8	27	31	+ 4	30	1
	Boeing 767-300ER	26	26	—	9	17
	Boeing 767-300	21	19	△ 2	19	0
	Boeing 767-300F	2	3	+ 1	0	3
	Boeing 767-300BCF	7	7	—	7	0
小型機 Narrow-Body	Airbus A320-200	19	20	+ 1	16	4
	Boeing 737-800	24	29	+ 5	24	5
	Boeing 737-700ER	2	2	—	2	0
	Boeing 737-700	11	11	—	8	3
	Boeing 737-500	15	16	+ 1	16	0
リージョナル機 Regional	Bombardier DHC-8-400 (Q400)	21	21	—	12	9
	Bombardier DHC-8-300 (Q300)	1	0	△ 1	0	0
合計 Total		231	241	+ 10	188	53

(MEMO)



(MEMO)



(MEMO)



## ANAグループが目指すもの

## グループ経営理念

安心と信頼を基礎に  
世界をつなぐ心の翼で  
夢にあふれる未来に貢献します

## グループ安全理念

安全は経営の基盤であり社会への責務である  
私たちはお互いの理解と信頼のもと  
確かなしくみで安全を高めていきます  
私たちは一人ひとりの責任ある  
誠実な行動により安全を追求します

## グループ経営ビジョン

ANAグループは、  
お客様満足と価値創造で  
世界のリーディングエアライングループを目指します

## 免責事項

当資料は、弊社の現在の計画、見積り、戦略、確信に基づく見通しについての記述がありますが、歴史的な事実でないものは、全て将来の業績に関わる見通しです。これらは現在入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいています。

弊社の主要事業である航空運送事業には、空港使用料、航空機燃料税等、弊社の経営努力では管理不可能な公的負担コストが伴います。また、弊社が事業活動を行っている市場は状況変化が激しく、技術、需要、価格、経済環境の動向、外国為替レートの変動、その他多くの要因により急激な変化が発生する可能性があります。これらのリスクと不確実性のために、将来における弊社の業績は当資料に記述された内容と大きく異なる可能性があります。従って、弊社が設定した目標は、全て実現することを保証するものではありません。

ご清聴ありがとうございました。

*Thank you.*

当資料はホームページでもご覧いただけます。

*This material is available on our website.*

<http://www.anahd.co.jp>

[日本語]

株主・投資家情報



IR資料室



決算説明会資料

ANAホールディングス株式会社 財務企画・IR部

電話番号 03(6735)1030(代) メールアドレス [ir@anahd.co.jp](mailto:ir@anahd.co.jp)